

今号の作業

リヤウインカー左とホーンを取り付ける



今号では、先号で仮組みしたメインフレーム左を取り外し、フロント側に「ホーン」を、後端部に「リヤウインカー左」を取り付ける。リヤウインカー左の内部にはLEDが内蔵されており、ケーブルを強く引っ張ると断線トラブルの原因になるので注意しよう。

今号のパーツ



- ①ホーン×1
- ②リヤウインカー左×1
- ③ビス(Gタイプ)×2
(※1本は予備)

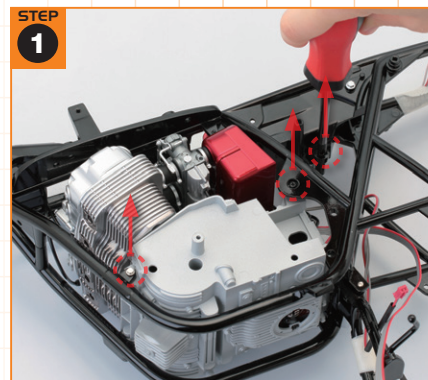
※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様が異なる場合があります。

使用する道具

- ・+(プラス)ドライバー(1番)
- ・ロングタイプ・ドライバー
- ・クロスレンチ(9号で提供したもの)

用意するもの

- ・メインフレーム(49号で組み立てたもの)
- ・マスキングテープ
- ・ビニール袋(パーツが入っていた袋で可)



先号で仮組みしたメインフレーム左を、1番の+(プラス)ドライバーと9号で提供したクロスレンチを使って取り外す。取り外したビスは、ビニール袋などに入れ、紛失しないよう大切に保管しておこう。



①ホーンを用意し、メインフレーム左のフロント部に設けられた取り付け部にセットする。



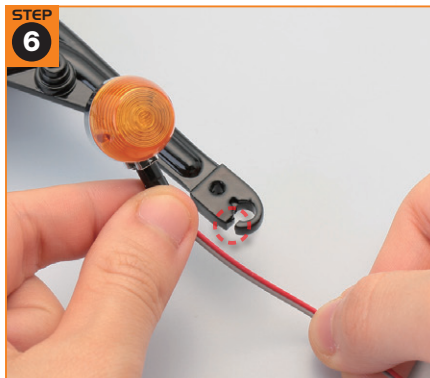
ホーン裏側の突起をフレームの溝にはめ込み、突起の下にあるポスト部のビス穴とフレームのビス穴を合わせる。



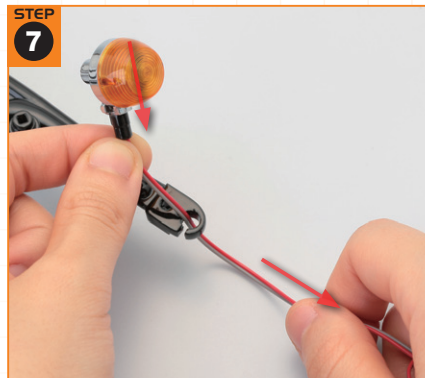
③ビス(Gタイプ)を用意し、フレームの内側からビス穴にセットする。



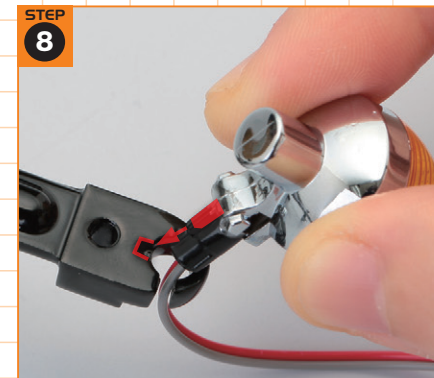
ロングタイプ・ドライバーを用意し、セットしたGタイプのビスをねじ込んで、ホーンをフレームに固定する。



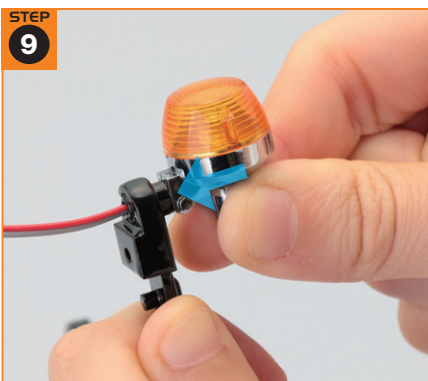
②リヤウインカー左を用意し、メインフレーム左の後端部に設けられた取り付け部の“切れ込み”に、コネクターケーブルを入れる。



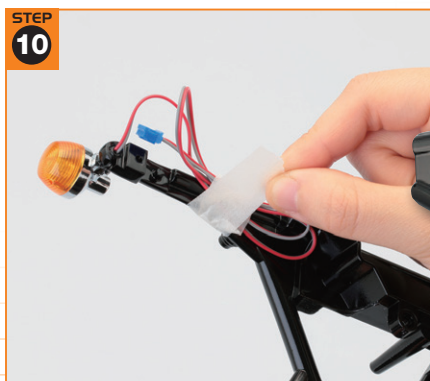
コネクターケーブルを強く引っ張らないよう注意しながら、リヤウインカー左のステア部分を取り付け部に寄せる。



リヤウインカー左のステア部分に設けられた突起部を、取り付け部のくぼみに合わせてセットする。

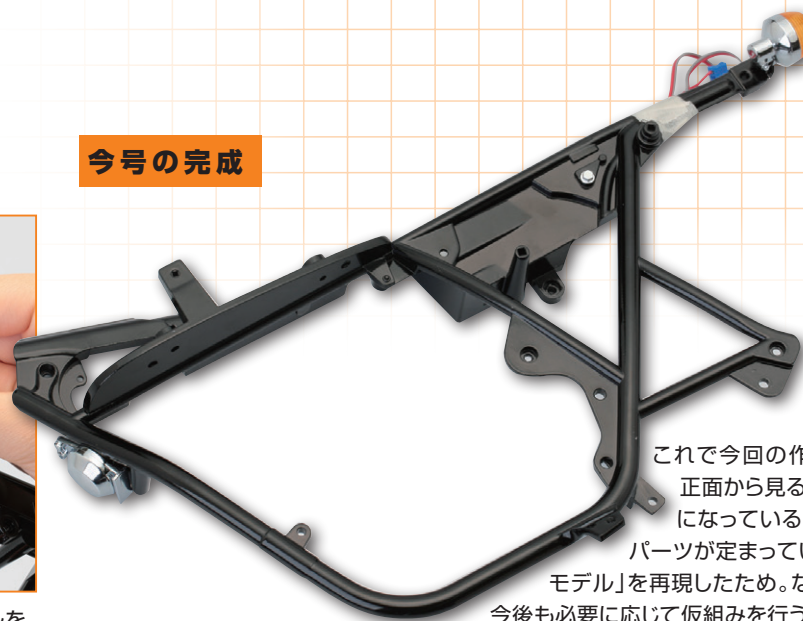


フレームに対し、リヤウインカー左を垂直に押し込んで取り付ける。このとき、ウインカーのステア部分にある突起は半分程度まではめ込めるが、それ以上は押し込められないようになっている。写真と同程度まで押し込めればOKだ。



リヤウインカー左のコネクターケーブルを軽く束ね、マスキングテープを使ってメインフレームに仮留めする。

今号の完成



これで今回の作業は完了だ。ホーンを真正面から見ると、取り付け角度が“斜め”になっているが、これはホーンのステアパーツが定まっていなかった実車の「最初期モデル」を再現したため。なお、メインフレーム左は、今後も必要に応じて仮組みを行うことになるので、今号で取り外したビスを紛失しないよう注意しよう。今回組み立てたメインフレーム左と、“エンジンブロックを搭載した状態のメインフレーム右”は、次回の作業に備えて大切に保管しておこう。